

令和2年度
高津区学校流域プロジェクト等推進業務
業務委託報告書

令和3年3月
NPO 法人鶴見川流域ネットワーク

(目次)

1	事業概要	
1-1	実施目的	1
1-2	実施内容	1
1-3	学校流域プロジェクトにおける基本方針	2
1-4	たかつの自然の賑わいづくり事業における基本方針	2
2	学校流域プロジェクトの推進	
2-1	学校ビオトープ等を活用した環境学習支援	3
2-1-1	梶ヶ谷小学校	4
2-1-2	久本小学校	5
2-1-3	東高津小学校	6
2-1-4	西梶ヶ谷小学校	7
2-1-5	坂戸小学校	8
2-1-6	上作延小学校	9
2-1-7	子母口小学校	10
2-1-8	新作小学校	11
2-2	学校ビオトープ等を活用した環境・防災意識の普及啓発	12
3	「たかつの自然の賑わいづくり」事業の推進間伐と下草刈り（作業前）	
3-1	モデル地区における森の保水力向上のための作業	20
3-2	「たかつ生きもの探検隊」の実施	21
3-3	「たかつ水と緑の探検隊」の実施	24

1 事業概要

1-1 実施目的

自然の賑わいに溢れた持続可能な循環型都市「エコシティたかつ」の実現に向けた目標と具体的な行動計画を示した「エコシティたかつ」推進方針のリーディングプロジェクトである「学校流域プロジェクト」を推進するため、健全な水循環と生きものの賑わいを再生し支える地域のモデル基地として、区内小学校および中央支援学校に対して、プロジェクトの支援を行い、環境学習、地域との交流活動を推進する。また、水系や流域などのランドスケープや生物多様性の視点を踏まえ、区内を流れている河川の小流域を単位として水・緑・生きものの調査を市民協働で行うとともに、さまざまな活動を通して、保水力・土砂防災力の高い流域づくりへの貢献及び自然の賑わいの回復を目指す。

1-2 実施内容

1) 学校ビオトープを活用した環境学習、流れる水のはたらきの実験学習、体験活動の活性化支援

- ・地域の自然環境とビオトープを関連付けた体験活動を通じた環境学習の支援を、区内市立小学校6校において、各校1回実施した。
- ・理科の授業で学習する「流れる水のはたらき」を視覚的にもわかりやすく、流域学習と関連付けて学習するため、校庭の一部で専用のキットを用いた実験と観察の支援を区内市立小学校2校で各校1回実施した。

2) たかつの自然の賑わいづくり事業

- ・専門家と一緒に高津区せせらぎ親子広場にて、生きもの探しなどを通じて、自然の生態について学ぶ親子向けイベント「たかつ生きもの探検隊」を実施した。
- ・緑ヶ丘霊園内の森の観察やホタルやトンボが舞う谷戸づくりを行う市民向けイベント「たかつ水と緑の探検隊」を緑ヶ丘霊園に近い場所にある下作延小学校の体験学習として実施した。

1-3 学校流域プロジェクトにおける基本方針

1) 多くの生きものが安心して暮らせる安定した環境づくり

ビオトープとは、Bio（生きもの）+Top（場所）というドイツ語の合成語であり、「生きものの暮らす場所」という意味である。その本来の意味に立ち返り、人間にとって「自然」に見えるビオトープではなく、野生の生きものたちにとって頼りになり、安定して暮らしやすいビオトープづくりを優先することを第一の方針とした。

2) 継続的な維持管理が容易な構造

田んぼや雑木林、谷戸のため池などは生産の場であると同時に、多くの生きものが暮らすビオトープでもある。そして、これらの環境は放置しても維持できるものではなく、人が手入れを行って管理することにより、初めて維持できるものである。

学校ビオトープも同様に、定期的な管理が必要である。そして、継続的な維持管理を行うためには、専門的な知識をもつ限られた人にしか管理できない複雑な構造ではなく、児童たちが教員や地域の方々と一緒になって、いつでもお世話ができるような単純な構造にすることを第二の方針とした。

3) 地域から飛来する生きものを呼び込むビオトープづくり

池のビオトープに入れる魚類、チョウのビオトープに植える植物は外部から持ち込むが、トンボやチョウなどについては、地域に生息する個体が飛来して、産卵を行い、ビオトープで成長し、やがて成虫になり、また地域に飛んで行く。このような生活環を支える、そのためのビオトープづくりを行うことを第三の方針とした。

その上で、学校の水辺ビオトープは都市の水生生物の暮らしのネットワークを育てることに貢献できるという話をしっかり児童たちに理解してもらったようにした。

4) 雨水の貯留と利用を進める

エコシティたかつ「学校流域プロジェクト」のもうひとつの柱が、学校における雨水の貯留とその利用の推進である。そこで、雨天時に校舎、校庭に降った雨を貯留し、晴天時に利用する工夫を進めることを第四の方針とした。

1-4 たかつの自然の賑わいづくり事業における基本方針

1) 森の保水力の向上

緑ヶ丘霊園内の森をモデル地区として、保水力を向上させることにより、土砂災害に強い森にする。

2) 生物多様性の向上

植生の多様性の回復を図るとともに、湧き水を活用した水辺を創出することで、さまざまな生きものを育む森にする。

2 学校流域プロジェクトの推進

2-1 学校ビオトープ等を活用した環境学習支援

区内市立小学校8校において、各校1回、述べ952名の児童に対してビオトープを活用した環境学習や校庭での流れる水のはたらきの学習支援を実施した。

実施にあたっては、各学校との打合せに同行し、学習内容について学校側との事前調整を行った。

業務実施内

	学校名	実施日	対象	参加人数		学習内容
1	梶ヶ谷小	6月30日	3年生	4クラス	146	ビオトープの解説及び生きものの観察
2	久本小	7月27日	5年生	4クラス	144	ビオトープの見学及び生きものの観察
3	東高津小	7月30日	6年生	5クラス	181	ビオトープの生きもの採取及び観察
4	西梶ヶ谷小	8月21日	3年生	3クラス	87	ビオトープの生きもの観察
5	坂戸小	10月15日	5年生	3クラス	92	ビオトープの生きもの採取及び観察
6	上作延小	10月22日	5年生	3クラス	111	流れる水のはたらきの実験及び観察
7	子母口小	11月10日	5年生	5クラス	177	流れる水のはたらきの実験及び観察
8	新作小	12月1日	飼育委員会	-	14	ビオトープの生きもの採取及び観察

2-1-1 梶ヶ谷小学校

日時 令和2年6月30日(火) 8:45~12:15
場所 梶ヶ谷小学校 3年生各教室、理科室
対象 3年生・4クラス(146名)
内容 ビオトープの解説、生きものの観察

各教室にて、パワーポイントを用いたビオトープの解説を行った。その後、理科室へ移動。生きものの解説を行ってから、スタッフが事前に採取し、それぞれ容器に入れておいた生きものを、肉眼や虫眼鏡、テレビ画面に写して観察を実施。最後に、児童による質疑応答を行った。以上のプログラムを4クラス分、各60分間で実施した。

観察した生きもの一覧

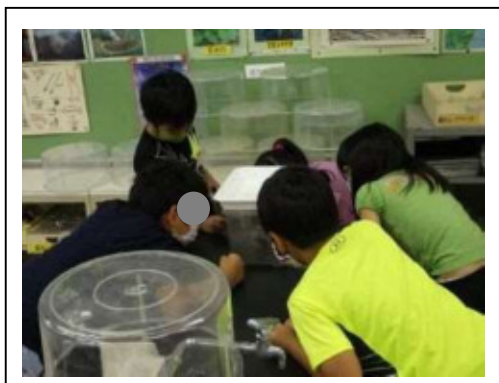
1	メダカ	5	ユスリカ sp.(幼虫)
2	ギンヤンマ(幼虫)	6	アズマヒキガエル(成体)
3	シオカラトンボ(幼虫)	7	サカマキガイ
4	ショウジョウトンボ(幼虫)		



ビオトープの解説



生きもの解説



生きもの観察



メダカ

2-1-2 久本小学校

日 時 令和2年7月27日(月) 8:45~12:15
 場 所 久本小学校 ビオトープ、会議室
 対 象 5年生・4クラス(144名)
 内 容 ビオトープの見学、生きものの観察

各クラス担任の先生引率で、ビオトープの見学を行った。その後会議室へ移動し、生きものの解説をしてから、事前にスタッフが採取、各容器に入れておいた生きものを、肉眼や虫眼鏡、テレビ画面に写して観察を行った。以上のプログラムを4クラス分、各45分間で実施した。

観察した生きもの一覧

1	メダカ	8	ガガンボsp.(幼虫)
2	モツゴ	9	ヌマエビsp.
3	シオカラトンボ(幼虫)	10	アメリカザリガニ
4	アメンボ	11	ミズムシ
5	コミズムシ	12	サカマキガイ
6	コマツモムシ	13	カイミジンコ
7	ユスリカsp.(幼虫)		



ビオトープの様子



生きもの解説



生きもの観察

モツゴ

2-1-3 東高津小学校

日 時 令和2年7月30日(木) 8:50~14:10
 場 所 東高津小学校 ビオトープ
 対 象 6年生・5クラス(181名)
 内 容 ビオトープの生きものの採取、観察

生きものの採取方法を説明後、各児童に採取用の網を配りそれぞれ採取を行った。その後、ビオトープ脇に移動して採取された生きものの解説と観察を行った。最後に児童による質疑応答を行った。上記のプログラムを4クラス分、各45分間で実施した。新型コロナウイルス対応のため全行程を屋外で実施した。

観察した生きもの一覧

1	メダカ	6	モノアラガイ
2	ギンヤンマ(幼虫)	7	シマイシビル
3	シオカラトンボ(幼虫)	8	イトミミズsp.
4	ハナノミ(幼虫)	9	シオカラトンボ(成虫)
5	サカマキガイ	10	オオシオカラトンボ(成虫)



生きものの採取の説明



生きものの採取



生きものの解説



ギンヤンマ(幼虫)

2-1-4 西梶ヶ谷小学校

日時 令和2年8月21日(金) 8:50 ~ 11:35
場所 西梶ヶ谷小学校 多目的室
対象 3年生・3クラス(87名)
内容 ビオトープの生きもの観察

はじめに、ビオトープの解説を簡単に行った。その後、スタッフが事前採取し、各容器に入れておいた生きものの観察を肉眼と虫眼鏡で行った。最後に、児童による質疑応答を行った。以上のプログラムを、3クラス分、各45分間で実施した。終了後、メダカの生息スペースを確保するために、水草の間引き作業をスタッフが行った。

観察した生きもの一覧

1	メダカ	4	ショウジョウトンボ(幼虫)
2	ギンヤンマ(幼虫)	5	モノアラガイ
3	シオカラトンボ(幼虫)	6	イトミミズsp.



ビオトープの説明



生きもの解説



生きもの観察



ショウジョウトンボ(幼虫)

2-1-5 坂戸小学校

日時 令和2年10月15日(月) 9:30~12:10
場所 久末小学校 ビオトープ、理科室
対象 5年生・3クラス(92名)
内容 ビオトープの生きもの採取、観察

生きものの採取方法を説明後、各児童に採取用の網を配りそれぞれ採取を行った。その後理科室に移動し、採取された生きものの解説をしてから肉眼と虫メガネ、顕微鏡等で観察を行った。最後に児童による質疑応答を行った。上記のプログラムを3クラス分、各55分間で実施した。

観察した生きもの一覧

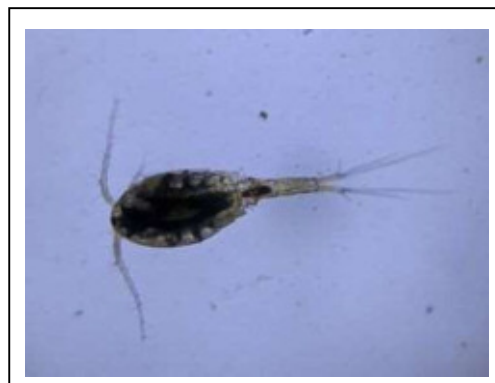
1	メダカ	7	ヌマエビsp.
2	クロスジギンヤンマ(幼虫)	8	フロリダマミズヨコエビ
3	ショウジョウトンボ(幼虫)	9	ミズムシ
4	ヒメタニシ	10	シマイシビル
5	サカマキガイ	11	ケンミジンコ
6	モノアラガイ	12	ワムシ類



生きもの採取



生きもの解説



ケンミジンコ

2-1-6 上作延小学校

日時 令和2年10月22日(木) 9:30~12:15
場所 上作延小学校 グラウンド(砂場)
対象 5年生・3クラス(111名)
内容 流れる水のはたらき(浸食・運搬・堆積)の実験、観察

活動内容を説明後、クラスを2つの班に分けて(A)直線に流れる水のはたらき、(B)曲線に流れる水のはたらきの実験と観察をローテーションで実施した。最後に(A)(B)両方の観察の際に行った解説のまとめと児童による質疑応答を行った。以上のプログラムを3クラス分、各45分間で実施した。



概要・趣旨の説明



流れる水のはたらきの観察



直線の流れ(水を流す前)



侵食された砂の様子

2-1-7 子母口小学校

日時 令和2年11月10日(火) 8:50~14:20
場所 子母口小学校 グラウンド(砂場)
対象 5年生・5クラス(177名)
内容 流れる水のはたらき(浸食・運搬・堆積)の実験、観察

活動内容を説明後、クラスを2つの班に分けて(A)直線に流れる水のはたらき、(B)曲線に流れる水のはたらきの実験と観察をローテーションで実施した。最後に(A)(B)両方の観察の際に行った解説のまとめと児童による質疑応答を行った。以上のプログラムを5クラス分、各45分間で実施した。



概要・趣旨の説明



流れる水のはたらきの観察



曲線の流れ(水を流す前)



堆積した砂の様子

2-1-8 新作小学校

日時 令和2年12月1日(火) 14:30~15:20
場所 新作小学校 ビオトープ
対象 飼育委員会児童(14名)
内容 ビオトープの生きもの採取、観察

生きものの採取方法を説明後、各児童に採取用の網を配りそれぞれ採取を行った。その後、採取された生きものの解説と観察を行い、最後に児童による質疑応答を行った。上記のプログラムを委員会活動の50分間で実施した。解説中、下校する低学年の児童も、興味深そうに生きものを見ていた。

観察した生きもの一覧

1	メダカ	5	ショウジョウトンボ(幼虫)
2	モツゴ	6	ユスリカsp.(幼虫)
3	ギンヤンマ(幼虫)	7	ヒメタニシ
4	シオカラトンボ(幼虫)	8	モノアラガイ



生きもの採取の説明



生きもの採取



生きもの解説



シオカラトンボ(幼虫)

2-2 学校ビオトープ等を活用した環境・防災意識の普及啓発

流域思考に沿った環境意識等の普及啓発のための映像コンテンツを1本作成した。

(1) 概要

題 名：「学校流域プロジェクト 雨の水はどこにゆくのか？」

対 象：小学生4年生～大人

所要時間：11分47秒

データの形状：画面解像度 HD(1280*720)

動画形式 mp4

データサイズ 約635MB

(2) 内容

以下のコンセプトで動画を作成した

- ・学校の校庭に降った雨の水はやわらい土にはしみ込み、固いところにたまる
- ・固いところに降った雨の水はあふれて、他の場所からあふれた水と合わさり、高いほうから低いほうへ、川となりながら流れる
- ・排水口から学校の近くの早瀬川に流れ、多摩川に合流する
- ・エコシティたかつの活動で実施した小学校の雨水の活用事例を紹介

あらすじ 上作延小学校の校庭にやってきたレインは、校庭に降った雨の水がどうして、排水口に行くのか？排水口からどこに行くか、ハテナと一緒に実験や探検をして、解明をしていく。途中、学校での雨水の活用の取り組みの話をしたりしながら、葉っぱの舟に乗って平瀬川から多摩川まで行き、雨の水の行方を確認する。

主人公 <レイン> 雨の精。雨と共に大地や海にやってくる。水蒸気と共に空に戻る水循環の象徴。友だちのハテナちゃんと一緒に、上作延小学校の学校に降った雨がどこに行くか学習する。

<はてな> 疑問なことがあると気になって仕方がない妖精。友だちのレインと一緒に雨の水がどこに行くか一緒に考え、行動する。

ルビふり 動画に出てくるテロップのうち、小学校4年生が学習していない漢字には、各ページごとに1回ルビをふった。小学校名については、ルビふりはしていない。

著作権など 撮影にあたり、管理者に届けを出し承認を得て、実施した。

使用した動画、画像、音源、図版はこの事業に限り、上映、頒布、複製、インターネット上のサーバーへの送信を可能とする著作権や商標権などに関わる手配は終了している。

制作体制

協力 川崎市立上作延小学校
川崎市立新作小学校
川崎市立橋小学校
川崎市立南原小学校

声 <レイン>保川望美 <はてな>SANAЕ

音楽 HURT RECORD

監修 岸 由二（慶應義塾大学名誉教授）

企画/編集 NPO 法人鶴見川流域ネットワーク

制作 川崎市高津区エコシティたかつ学校流域プロジェクト

資料：表紙(You Tube サムネイル)



オープニング (You Tube)



	
<p>校庭に降った雨のゆくえ</p>	<p>水の染み込み具合を実験</p>
	
<p>学校に降った雨が川に流れていく</p>	<p>学校→ 平瀬川→ 多摩川</p>
	
<p>学校ビオトープの雨水利用を紹介</p>	<p>高津区内の2つの流域を解説</p>

資料：シナリオ

1	表紙	学校流域プロジェクト 雨の水はどこにゆくのか？
2	図文字	雲ができてきました
3	図文字	雨がふり始めました
4	図文字	みんなの学校に雨がふり始めました
5	レイン	ぼく レインで～～す 雨となって、森や街にやってくるんだよ！
6	レイン	雨が降ると校庭のあちらこちらに水たまりができるね
7前	レイン	あれあれ！みずたまりがつながって校庭に川ができたよ！
7後	レイン	その川の水は排水口にいったよ。
8	？	ちょ～～と待って！わからないことがあると、気になって眠れないハテナちゃんです～～す！ レインちゃんどうしてみずたまりができて 川になって排水溝にゆくのか？ハテナ？ハテナ？
	レイン	そんなのわかんないよ～～
9	レイン	これは公園の様子。ここも雨が降ると川が出来て排水口にながれてゆくよ。どうしてなんだろう？
10	？	レインなのにわからないの？そういうときは実験をするのよ。
11	文字	実験をしてみよう！
11*2	？	雨が降るとレインちゃんたちがやってきて、いろんなところに雨の水が落ちてくるわね。そうすると水たまりができて川になるわね。でも、水がたまる場所とたまらない場所があるのはどうして？ハテナ？ハテナ？だわ。土の種類に関係があるかもしれない。
13	？	二ヶ所の地面で試してみない？一ヶ所は土がほわほわの砂場。もう一ヶ所はみんなが踏んでる場所、その両方に雨をふらせてみない？
	レイン	そうだね。

14	?	もうひとつ実験よ！
	レイン	まだやるの？
	?	そう、まだハテナ？があるの。どうして、川になって流れていくか？わかってないわ。
15	?	ボールを置くと転がっていくから、これは右が高くて、左が下がった坂よ。
16	?	この坂に水を流してみましよう。
	レイン	ボールと同じに、雨の水は高いところから低いところに流れていくのね。
17	レイン	これでわかったぞ！
18	レイン	砂はすき間がたくさんあるから、水はしみ込みやすい。みんなが踏んでる土は固いから水はしみこみにくいんだよ。固くてへこんだ場所に水がたまるんだ。もっと雨が降るとその水たまりからあふれた水は、高いところから低いほうに流れていき、いくつかのみずたまりからあふれてきた水が集まって、川になるんだね。
19 前	?	そうよね。わかったわ！あ〜〜〜これで、すっきりした！ ・・・でもね！排水口から流れていった雨の水はどこにゆくのかしら？
19 後	?	この先って、何があるのかしら？ もしかして 地底都市につながっているのかしら？ 地球の裏側かしら？ レイン それを調べるのは、おやすい御用さ！ 行ってみるよ！
20 前	レイン	効果音ヒューぽこん！ここはどこだ〜〜！？排水溝から雨の道を通って、ふたの隙間から川に出てきたよ！ あっ！学校の裏にある川にでてきたよ！ハテナちゃ〜ん！ こっちにおいでよ！
20 後	?	は〜〜〜い！へ〜〜〜！裏の川につながってたのね。レインちゃん発見、偉いわ！ところでこの川の名前は何というの？ハテナ？ハテナ？
21	レイン	この川は平瀬川！葉っぱのボートに乗ってどこにゆくか調べてみよう！川の水と一緒にどんぶら、どんぶら、流されていくよ〜。どこまで行くか、ハテナちゃん、行ってみようよ！

	?	そうよね！これも実験！ハテナ？ハテナ？レインちゃんどこにゆくか一緒に探険しましょう！
22	レイン	あれ～～川がまがってるよ～～
	?	ハテナ？ハテナ？どこにゆくのかな？
	レイン？	どんぶらっこどんぶらこ！どん～ぶらっこどんぶらこ！
23	?	あれあれ！まっくらになっちゃった！ハテナ？ハテナ？レインちゃんどうしたの？こわいわ。この先に怪獣がいるんじゃない？
	レイン	ハテナちゃん、これは川のトンネルだよ。地面の中を川が通っているんだよ。心配いらないさ。ぼくたちいつもこんな道を通っているんだよ。 ところで、ハテナちゃん。レインたちが、みんなの役に立っていることがあるんだ、トンネルをぬける間、そのお話しをしてあげるよ。
	?	ハテナ？ハテナ？それはぜひ！知りたいわ！教えてちょうだい。
24	レイン	新作小学校はうさぎ小屋の屋根の雨水を集めて池のビオトープの水として使っているんだ。
24	レイン	橘小学校は飼育小屋の屋根の水を雨水タンクにためてから田んぼのお水にしてるんだ。
25	?	わ～～～、おいしいお米がとれそうね！
26	レイン	南原小学校は石垣に集まる雨の水をためて、池のビオトープの水にしているんだ。
	?	わ～～よく考えているのね。
	レイン	これらの学校の取り組みは、水の節約にもなっているんだよ。
	?	どれもすばらしいわね！雨の行方がいろいろわかって、と～～つてもスッキリしたわ！
27	?	わ～～～明るくなった。トンネルをぬけたのね。
28	?	ああ～～広いところにでできたわよ。
	?	大きな川があるわ！なんてすてきな～～～。
	レイン	ほんとうだ～～。ひろいね～～～。

	?	レインちゃん、ハテナ？ハテナ？ところで、ここはどこ？
	レイン	そうだ！川の地図を見てみようね！
29	レイン	学校がここだね。ここからどんぶらこっこだんぶらこ！って、平瀬川の流れにのって来たんだよ！ほら、ここにトンネルがあったね。
	?	そうね。トンネルこわかった。ハテナね、暗いところダメなのよ。でも、レインちゃんたちが活躍してるお話しが聞けてよかったわ。
	レイン	ありがとう。このおおきな川は多摩川だよ。
	?	これが川崎のふるさとの川、多摩川ね。
30	?	ハテナ？ハテナ？このでこぼこはなに？
	レイン	これは、平瀬川に沿って、地面をたてに割ったときの図さ。断面図っていうんだよ。ここが上作延学校で、こっちが多摩川。ほら坂になってるだろ。川の水は高いところから低いところに流れていくんだってわかるよね。だから平瀬川の流れにのって、どんぶらこって、今二人でここまでこれたって訳さ。
	?	ということは、上作延学校の校庭に降った雨の水は高いほうから低いほうへ流れて、排水溝から平瀬川に流れ込み、さらに流れ下って、今度は多摩川に流れこむのよね。
31	レイン	ハテナちゃん、ここまで来たんだから、多摩川にもいってみましようよ。
	?	そうね、この先もハテナ？ハテナ？ね。
	レイン	川にそって、土手の道があるから、この先がどうなっているか？みんなもそれぞれしらべてみるといいよ！
	?	そうね。みんなもそれぞれ自分のハテナ？を見つけて、調べてみようね。それと、川には子どもだけでは行かないでね。必ず、大人の人と行ってね。レインちゃんとハテナちゃんは、子どもじゃないのかって？ 子どもじゃないけど大人でもない秘密で～～す。さあ、レインちゃん探険をつづけましょう。
	レイン？	どんぶらっこだんぶらこ！どんぶらっこだんぶらこ！繰り返し
32	図	小学校の校庭に降った雨はどここの川に流れ込むのでしょうか

33	奥付	協 力 川崎市立上作延小学校 川崎市立新作小学校 川崎市立橘小学校 川崎市立南原小学校 声 保川望美 SANAE 音 楽 HURT RECORD 監 修 岸 由二（慶應義塾大学名誉教授） 企画・編集 NPO 法人鶴見川流域ネットワーク
34		制 作 川崎市高津区エコシティたかつ学校流域プロジェクト
35	図	エコシティたかつ
36	裏表紙 レイン?	みんな ばいば～～～い またね～～

3 「たかつの自然の賑わいづくり」事業の推進

3-1 モデル地区における森の保水力向上のための作業

市立緑ヶ丘霊園内のモデル地区において、湿地環境を創出し、ホタルやトンボが飛び交う谷戸づくりを進めるため「たかつ水と緑の探険隊」の開催にあわせて、整備作業を実施した。事前の現地踏査を10月30日に、作業を11月3日に実施するとともに、11月4日の「たかつ水と緑の探険隊」終了後に、参加者が実施した作業を引き継いで仕上げ作業を行った。



風倒木の処理と下草刈り（作業前）



風倒木の処理と下草刈り（作業前）



間伐と下草刈り（作業前）



間伐と下草刈り（作業後）

3-2 「たかつ生きもの探検隊」の実施

「たかつ生きもの探検隊」として、小学生とその保護者向けに生物の採集及び観察のイベントを行った。

日 時：令和2年9月13日（日） 10：00～11：45

場 所：高津区せせらぎ親子広場

講 師：小林 範和（NPO 法人鶴見川流域ネットワーク事務局長）

参加人数：15名（大人8名、子ども7名）

(1) オリエンテーション

区担当者からの挨拶、スケジュールの説明の後、講師より本日のテーマ、イベント開催場所の特徴等についての解説、虫取りの際の注意事項の説明（セーフティトーク）を行った。



区担当者の挨拶・スケジュール説明



講師より導入の話

(2) 草地の生きもの探し

草地広場ので、参加者に網とケースを貸出して虫捕りを行った。最後に、捕れた虫を集めて、虫の解説を行った。

高津区せせらぎ親子広場での本イベントは初開催であったが、合計25種もの昆虫類が確認され、中でもチョウ類の種数が多かった。35分間と短い時間だったものの、たくさんの生きもので賑わう様子を参加者に感じていただくことができ、身近な自然について考える良いきっかけとなった。

なお、本イベント終了後に、同時開催していた高津せせらぎプレーパークの参加者にも確認された生きものの紹介を行った。



虫捕りの様子



虫捕りの様子



生きもの解説



観察した生きものの一例（カンタン）

たかつ生きもの探検隊で見つかった生きもの一覧

分類	名称
	採取した生きもの
コオロギ	エンマコオロギ ハラオカメコオロギ カンタン
キリギリス	ウスイロササキリ コバネヒメギス ツユムシ
バッタ	ショウリョウバッタ トノサマバッタ コバネイナゴ
チョウ	ヤマトシジミ ベニシジミ モンシロチョウ モンキチョウ キタキチョウ キタテハ イチモンジセセリ シャクガ s p. (2種) ヤガ s p. (成虫・幼虫)
トンボ	アオモンイトトンボ シオカラトンボ ショウジョウトンボ
その他	アオクサカメムシ キマダラカメムシ トラマルハナバチ

【参考：スタッフが別途採取した水辺の生きもの】

- ・メダカ
- ・ヒメゲンゴロウ
- ・オオアメンボ
- ・ガガンボ（幼虫）
- ・ミズムシ
- ・フロリダマミズヨコエビ
- ・サカマキガイ

3-3 「たかつ水と緑の探険隊」の実施

モデル地区内で「たかつ水と緑の探険隊」として、間伐などの森の保水力向上に関する手入れ作業の体験を通じた環境学習支援を区内小学校に対して実施した。

日	時	令和2年11月4日(水)	9:30~11:30
場	所	川崎市立緑ヶ丘霊園内谷戸	
講	師	小林 範和 (NPO 法人鶴見川流域ネットワーク事務局長)	
参加人数	下作延小学校生徒	5年1組	31名
		2組	33名
		子ども合計	64名
	〃	教師	3名
			<u>合計67名</u>

(1) 集合、注意事項説明

講師からの開会挨拶と谷戸管理作業の際に使用するヘルメット、作業用グローブ、鋸等の道具に関する使い方の説明と作業時の安全に関する注意事項の説明を行った。



講師の挨拶、趣旨・概要の説明



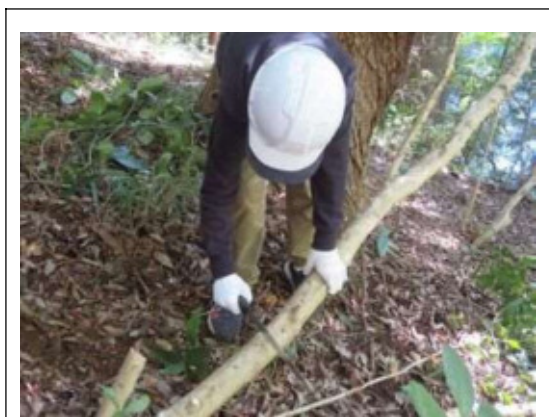
安全についての説明

※ 以下、(2)(3)の作業はクラスを班に分けてローテーションで実施した。

(2) 谷戸内の管理作業（常緑広葉樹の間伐作業体験）

谷戸法面に繁茂したシラカシやアオキ等の常緑広葉樹は冬になっても葉を落とさず、結果として太陽光が地表に届かなくなり、下草の成長を阻害するため、これらの間伐作業体験を実施した。班ごとに数本の常緑広葉樹を鋸で間伐し、法面地表に太陽光が当たるようにした。作業の際は、鋸の使い方や間伐した木の跳ね上がり等による怪我、法面からの滑落等を防ぐため、各班に1名のスタッフが付き添い、安全面に配慮して作業を実施した。

プログラム終了後、間伐した木を用いて土砂流出防止のためのカントリーヘッジの設置を行った。



作業の様子



太陽光が当たるようになった谷戸法面

(3) 谷戸内の管理作業（池の穴掘り体験）

常緑広葉樹の間伐作業体験と並行して、降った雨が集まる地点に池を設置するための穴をスコップで掘る作業体験を行った。この池は、降雨時に谷戸からの土砂及び大量の雨水の流出を防ぐとともに、湿地環境を創出し、ホタルやトンボ類といった生きものの生息・繁殖地としての機能も有する。先の尖ったスコップを使用するにあたり、2名のスタッフがサポートし、安全に配慮して作業を行った。児童たちは泥だらけになりながらも、楽しそうに作業に取り組んでいた。

プログラム終了後、掘った穴に遮水シートを敷入れ、その上に彫りとった土をかぶせ、池の下地とした。残りの土は池の周囲に積んで硬め、堤とした。



作業の様子



完成した池の様子